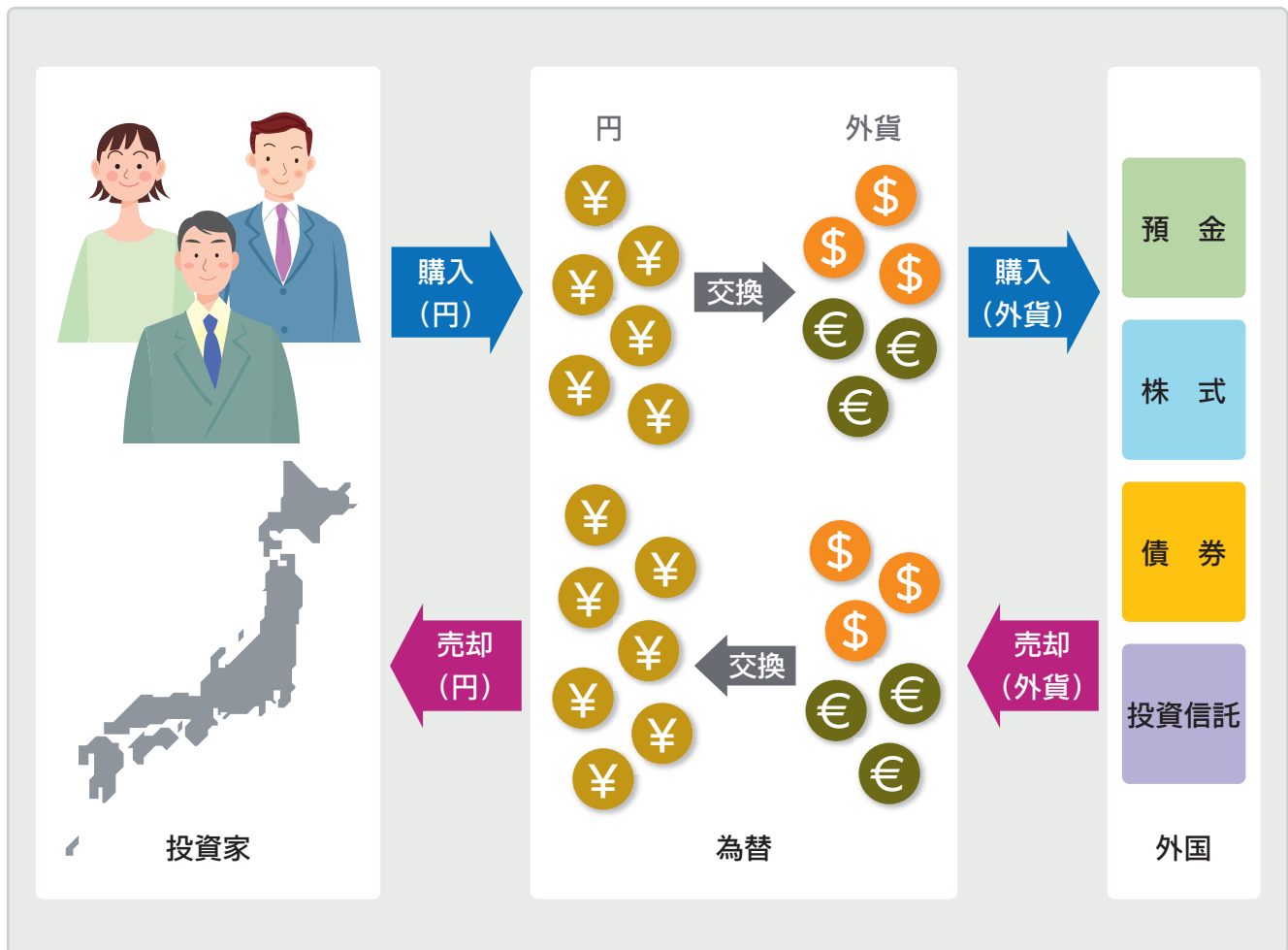


投資対象：外国資産

投資信託の投資対象である株式、債券等の中には、外国の通貨で取引されるものもあります。これらの外国資産は、為替によって商品の価値が変動する点が大きな特徴です。為替とは2つの国の通貨（例えば円と米ドル）を交換することを言い、為替の交換比率（為替レート）は経済や政治等の様々な要因で変動します。外国資産に投資する場合は為替レートの変動も考慮する必要があります。

■イメージ



外国資産に投資する場合、円を外貨に交換してから外国の預金や株式、債券等を購入します。また、これらの商品を売却する場合、売却代金は外貨なので、外貨を円に交換する必要があります。そのため、外国資産の運用においては、「運用商品固有の変動」のほかに「為替レートの変動」の影響も受けます。

為替レートの変動により利益が出ることも損失が出ることもあり、リスクは大きくなる傾向があります。

〈主なリスク〉

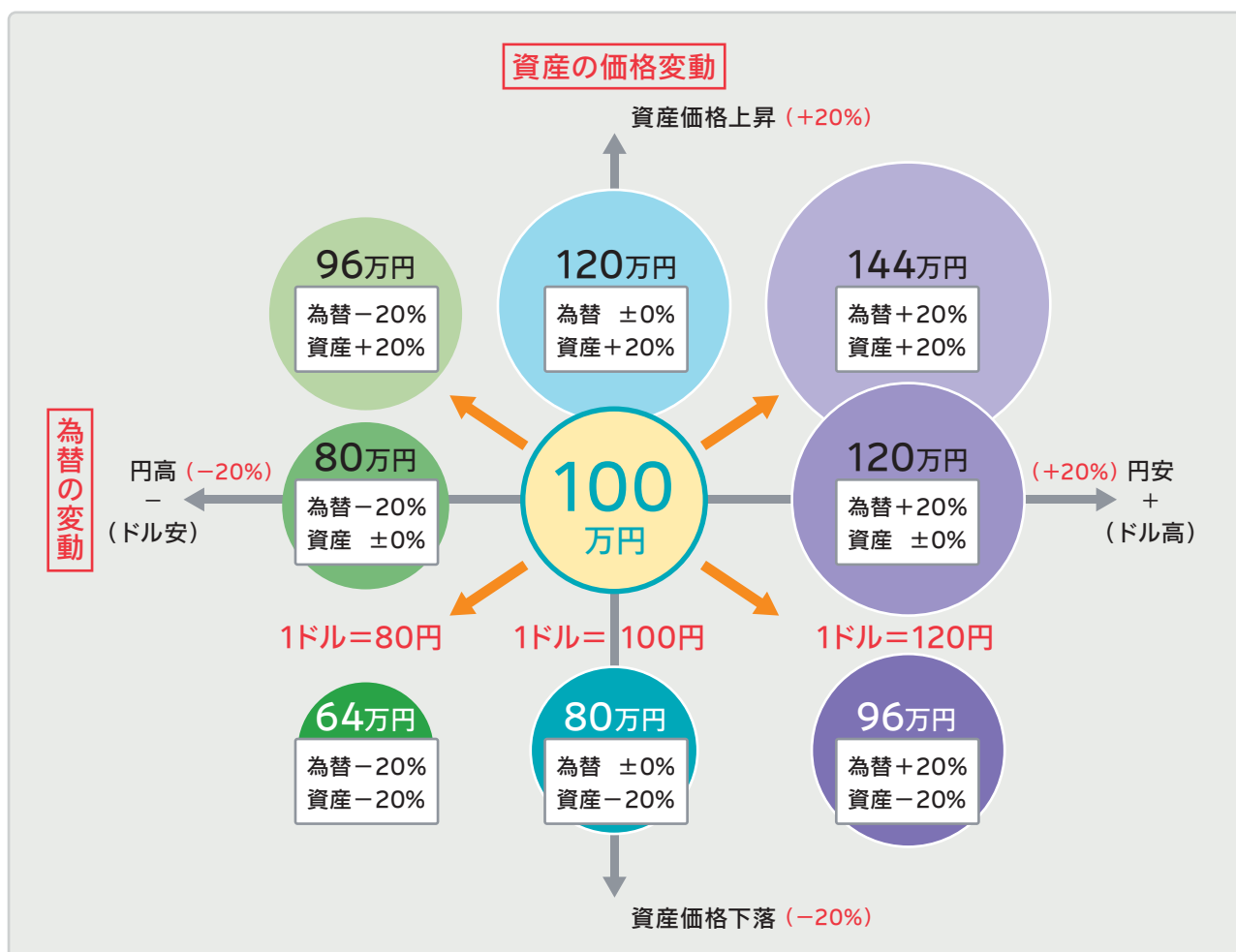
外国資産の場合、資産（株式、債券等）固有のリスクに為替変動リスク、カントリーリスクが加わります。

■資産の価格変動と為替の変動

外国資産に投資した場合、円換算した投資金額は「資産の価格変動」と「為替の変動」の両方の影響を受けて変動します。

例えば、1ドル＝100円のときに、100万円をドル資産に投資した場合(中央の円)の「資産の価格変動」と「為替の変動」がどのように影響するのを見てみましょう。

■変動のイメージ



●為替ヘッジ

為替ヘッジとは、外国資産を運用する際、為替変動による価格の変動を抑えるために行う取引のことです。外国資産に投資する運用商品には、為替ヘッジを行うもの(為替ヘッジあり)と行わないもの(為替ヘッジなし)があります。ただし、為替ヘッジには費用がかかります。

<為替ヘッジと収益の関係>

